

冬木木だより

2017
冬号
vol.23

友の会会員の皆さまと記念館を結ぶ会報誌

冬の子のうた

春を待つ

ひきしまったところ

ふまれて株をます

冬の麦のすがた

これが冬の子の

詩の世界なのだ

万象に光あふれ

万物にいのちよみがえる

あの春を夢みるころ

それが冬生まれの

わたしの詩の真髄なのだ

(真民57歳)



冬の石鎚連峰(重信川真民祈りの場所より撮影)

館長エッセイ

【第二十三回】

かなしみをあたためあつてあるいてゆこう

真民詩とわたし

生家発見へ 酒器がつないだ縁

いのちを たいしきゅう
井上 泰秋 さん

真民詩を読み解く ②

貧しいけれども、聖家族のような暮らしを詠う
「六魚庵天国」

坂村真民記念館開館6周年記念特別展

「坂村真民という生き方 ～坂村真民の生涯を
貫いた生き方とは～」展について

コーヒーブレイク

聖徳太子と真民さん

【第二十三回】慈しみ思いやる「慈」の心と、一緒に悲しむ「悲」の心で

かなしみをあたためあつてあるいてゆこう

この言葉は、坂村真民の7冊目の自費出版詩集「静かな愛」（昭和32年1月発行）の巻頭に載せられている詩「友への詩」の全文です。

その前書きには、「この詩集を開いて下さる人々へ」とあります。

真民は、この詩集の読者に向かつて、「かなしみをあたためあつてあるいてゆこう」と呼び掛けているのです。

この「かなしみ」というのは、「辛い、悲しみ」という意味と、「相手の悲しみに共感して、相手を思う気持ち」の意味も含まれていると思います。

友への詩

—この詩集を開いて下さる人々へ—

かなしみを
あたためあつて
あるいてゆこう

また、この「あたためる」というのは、「何か大切なものをじつと^{はぐく}育む」という時に使う「あたためる」という意味ですね。

そして、この詩で重要なところは、「あたためあつてあるいてゆこう」という言葉です。

「あたためて」ではなく、「あたためあつて」というのは、悲しみを抱えている人たちと共に、一緒にその「悲しみ」を悲しみ、一緒にそれを大切に育み、出来れば取り除けるように手を取り合つてあるいていきましよう、という意味ですね。

坂村真民は97年の生涯を、「かなしみ」と共に生き、「かなしみ」を大切に生きてきた人であると言えます。

悲しみに暮れている人がいれば、ただ言葉で応援したり、自分は温かくして手を差し伸べたりするのはなく、その人と一緒に悲しみを共有し、寄り添って生きてきました。

坂村真民の好きな仏教の言葉に「大慈大悲」という言葉があります。この「慈」という言葉の意味は、慈しみ、思いやり、相手に何かをしてあげたい、と思う心です。

「悲」というのは、悲しみです。相手が悲しんでいるのを見て一緒に悲しむ心です。そして相手の悩み苦しみを何とか取り除いてあげたいと思う心です。（円覚寺の横田南嶺管長の「祈りの延命十句観音経」より）

「大慈大悲」とは、広大無辺な仏の慈悲のことです。

仏教の世界では、仏さまが私たちの悲しみや苦しみを「一緒に悲しみ、苦しんでくださる」ことによつて、私たちは救われるのだ。と説かれています。坂村真民は、この教えを実践することを生涯の念願としていたのだと思います。

真民が76歳の時の詩に「いつもいっしょ」という詩があります。私は、こ

ういう坂村真民の生き方を大切にしていきたいと思います。



致知出版社発行
定価1300円(税別)

いつもいっしょ

いつもいっしょ！

これがわたしの信仰理念
木とも石とも
蝶とも鳥たちとも
いっしょ

人間はもちろん森羅万象
いつもいっしょに生き
いつもいっしょに息をする

だから一人であつても一人でない
沈むことがあつても
すぐ浮きあがる

ふしぎな奇跡が起きてくる
いつもいっしょ！

ああこの愛のことばを
唱えてゆこう

『坂村真民全詩集第六巻』

生家発見へ 酒器がつかないで縁

いのうえ たいしゅう
井上 泰秋 さん(76歳)



井上泰秋さんは、小代焼400年の伝統を受け継ぐ名工。多くの入選・入賞歴があり、現在、熊本国際民藝館館長、熊本県民芸協会会長を務める

熊本県荒尾市で小代(しょうだい)焼ふもと窯を営む井上泰秋さんのもとに、未知の人物から一通の手紙が届いた。ふもと窯の酒器を贈られた真民さんが、その住所から生家付近の窯元に違いないと、藁をもつかむ思いでした。井上さんの尽力で生家は見つかり、生地を訪れた感動は真民詩「第三の人生」に結実した。奇遇ともいえる縁は、終生結ばれた。

◆「生地を探し求めて」

昭和48年5月、見ず知らずの方から「生家が近いと思うので調べてほしい」という内容の封書が届きました。それが真民先生でした。なんでも、友人から贈られた酒器に添えられた葉の住所を見て、ハッとされたそうです。早速、役場で字図を確認し、家からわずか100mほどの古い二階建ての家と分かりました。すぐにお返事を差し上げたところ、その年の8月にお姉様と来られた。先生は23歳でこの地を離れているので記憶はほとんどないようでしたが、お姉様がよく覚えていて、お二人ともうれしそうでした。

第三の人生(部分)

風は近くの小岱山から吹いていた
わたしは生まれた処の風を初めて聞いた
夏のさなかなだつたけれど
秋のようなさわやかな音であった

(略)

わたしは長いあいだ言ってきた
自分はスタートのない人間なんだ
だからゴールもふたしかなんだと

(略)

いま初めて呱呱の声をあげた土地にきて
すぐ近くの山から吹いてくる風を聞き
ああ

これから本当の人生が始まるんだと思った
(後略)

◆「タンポポ堂」はパン屋?

お会いしてから欠かさず賀状が届くようになり、「この方はどこか違う」という印象を持ちましたが、詩人とは全く知りませんでした。

平成元年、四国での民芸の会に参加したとき、砥部の梅山窯資料館で「念ずれば花ひらく」の額を見て、「真民さんだ」。お住まいもすぐ近くと伺ったので、ご自宅に向かいました。何も知らない私は、「タンポポ堂というから、パン屋か本屋かもしれないね」などと言いつつ、先生を訪ねたんです(笑)。そこで、初めて先生が偉い詩人だと知りました。

帰りの車中、お別れする時にいただいた詩集で「第三の人生」を読んだ私は、驚愕しました。たまたま私がご案内した生家にこれほど深い思い入れがあり、人生の節目となったとは。そして、一つひとつの詩が胸にズンときたんです。

◆真言碑の建立

すっかり真民詩のファンになった私は、平成3年、窯場に167番碑を建てました。

また、全国各地に朴の会が創設されていきましたので、「生地にもぜひ」

と、平成5年に「有海朴の会」を発会。同10年には「第6回全国朴の大会」を荒尾で開催し、全国から多くの方においでいただきました。

◆記念館よ、永遠に

一日一日を無駄にしない、努力によつて思いの花はひらく、闇の向こうから必ず光は射す——まさに言葉ですね。先生の言葉に支えられ、皆と力を合わせて努力したおかげで展示場も完成しました。「念ずれば花ひらく」ですよ。

砥部に記念館ができたことは、大変嬉しかった。本音を言えば、熊本ならもつと良かったんですが、人々の心の支えになる大切な記念館ですので、長く守り続けていただきたいと願っています。



平成元年、弟子たちと初めてタンポポ堂を訪問



ふもと窯の167番真言碑。「167」はタンポポ堂の住所に因む

貧しいけれども、
聖家族のような暮らしを詠う

「六魚庵天国」

この詩は、坂村真民の第一詩集「六魚庵天国」(昭和26年4月発行)に掲載され、その題名になっている詩で、真民が40歳頃に書いた詩です。

戦後朝鮮から九州の熊本に引き揚

げてきて、就職先を探していた真民は、短歌雑誌「蒼穹」を通して交流のあった佐伯秀雄さん(当時三瓶町の山下第二高等女学校長)の誘いを受けて、九州から家族を連れて三瓶町にやってきました。



います。6匹とは、真民夫婦2人に、3人の娘と、朝鮮時代に生まれて直ぐ亡くなった「茜さん」という子供を含めて合計6人となります。

この頃、真民家族は、山下高等女学校の敷地の中にあった教員住宅に住んでいました。

しかし、その家は、「ムカデやナメクジが住みつき、じめじめした家で、お世辞にも「天国」とは言えない家」でした。(詩集「六魚庵天国」より)

それでも真民にとつては、3人の娘と妻が待つその家は、心が休まる唯一の天国だったのです。

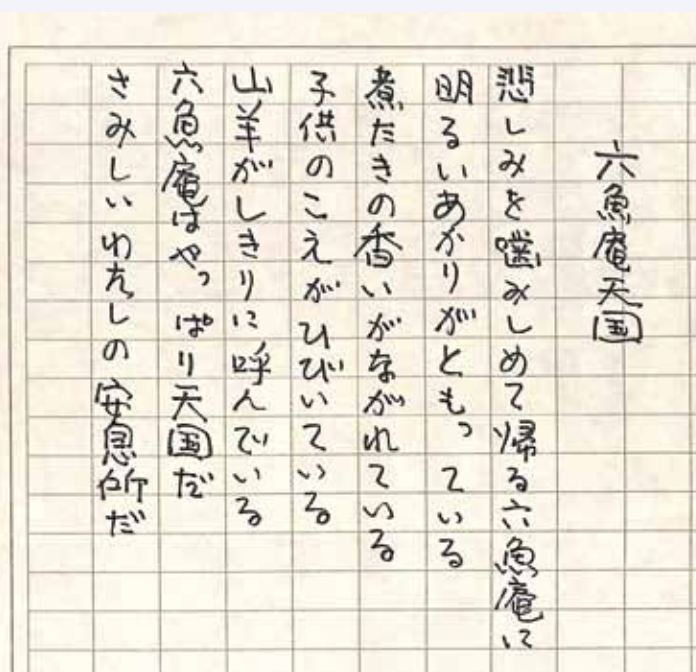
職場で、辛いことや嫌なことがあっても、六魚庵に灯った明りを見て、子供たちの明るい声を聞くと、本当に心が休まり安心したのだと思います。

この頃の坂村真民は、学校では色々悩みを抱えていましたし、文学の上でも、短歌に限界を感じて、新たに詩を作り出した頃の詩です。

精神的にも肉体的にも、かなり落ち込んでいた時期だったと思います。学校で嫌なことがあつて、悲しい気持ちで家に帰ると、待ち構えていたように子供たちが迎えてくれる。本当に無邪気な子供たちの笑顔だけが、真

民の気持ちを慰めてくれる唯一の心の薬でした。

この詩に出てくる「山羊」は、真民家族が家で飼っていたもので、当時は貴重な牛乳の代わりに山羊の乳を飲んでいました。



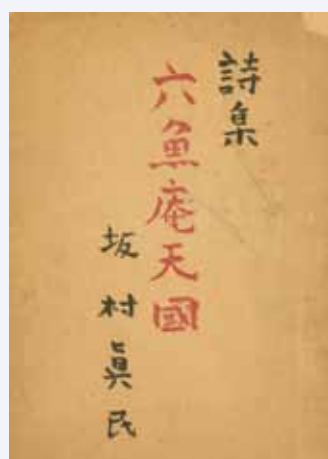
六魚庵天国

悲しみを噛みしめて帰る六魚庵に
明るいあかりがともっている
煮だきの香いがながれている
子供のこえがひびいている
山羊がしきりに呼んでいる
六魚庵はや、ぱり天国だ
さみしいわらしの安息所だ

三瓶での4年間(昭和21年5月から昭和25年3月まで)の生活を詠った詩を集めた詩集「六魚庵天国」は、

真民詩の原点であり、真民が生涯でも愛した詩集です。

この「六魚庵」というのは、6匹の魚が住む、小さな家、という意味で、真民の家族が住む家でありその家族のことをいって



「坂村真民という生き方 ～坂村真民の生涯を貫いた生き方とは～」展について

期間

平成30年 3月3日(土)~6月17日(日)

坂村真民記念館は、2012年3月11日という特別な日にオープンし、もう6年が経とうとしています。

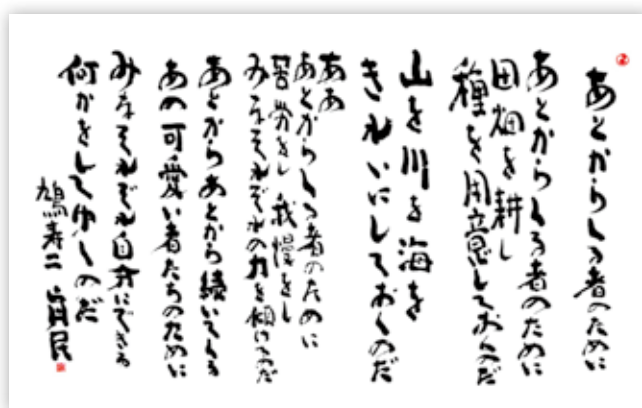
これまで記念館では、坂村真民の生涯を展望しそこから生まれた数々の詩について、真民が住んだ地を辿って、それぞれの時代の代表的な詩とその詩が生まれた背景等について解説し、その詩の魅力を分かりやすく丁寧な解説パネルや資料を展示してきました。

また、3年前からは、坂村真民の生き方とその中心にある思想を、「家族」、「一遍上人」、「森信三先生」、「二人の母」、「坂村真民の祈り」というテーマを設定して、より深く真民詩の世界を掘り下げて、真民詩を理解するための企画展を開催してきました。

開館より6年を迎える今年は、これまでの企画展と特別展をもう一度見直して、「坂村真民という詩人の生き方」を総合的に捉え、「坂村真民という生き方」というテーマで、坂村真民の独特な生き方とその特徴、そしてそこから生まれてくる「真民詩」を、あ

あらゆる角度から見つめ直して、真民詩をより分かりやすく、より深く解説しようと試みています。

どうぞ、多くの皆様がこの特別展をご覧になり、真民詩の魅力を再発見していただき、皆様の人生の「生きる糧」として、また「生きる希望」として、真民詩がお力になることが出来ますように、心を込めて特別展を開催することとしておりますので、どうぞ、多くの方々のご来館を心からお待ちしております。



～致知人間学講演会スペシャル～
「坂村真民 求道と祈りの生き方に学ぶ」開催

このほど致知出版社から真民詩に関する二冊の本が出版されたのにちなんで、著者二人のダブル講演会&トークショーが開催されます。

●講師・演題

西澤孝一 坂村真民記念館館長
「かなしみをあたためあってあるいてゆこう」

横田南嶺 臨濟宗円覚寺派管長
「揚げば光あり」

●会費

1人5000円(当日受付で支払い)

●日時

12月16日(土) 13:00~16:00

●場所

京王プラザホテル(新宿)本館47階「あけぼの」
(東京都新宿区西新宿2-2-1)

●お申し込み

致知出版社 TEL03-3796-2111
ホームページでも受付。<http://www.chichi.co.jp/>



聖徳太子と真民さん

「太子のうたが、わたしの目をひらき、
わたしの心の扉をあけさせてくれた」

このほど道後に生まれた第三の外湯「飛鳥乃湯泉」は古代をコンセプトにし、聖徳太子の伝説をふんだんにとりいれています。太子への思いを秘めていた真民さんの話を。

真民さんの詩には、敬愛する人や影響を受けた人がたくさん出てきます。古今東西の歴史上の人物も多く、比較的若い時には、画家のゴッホやユトリロ、音楽家のコダイ、小説家のロマン・ロランなど、芸術家も多数登場して、真民さんの傾倒ぶりがうかがわれます。

聖徳太子もその一人。「自選 坂村真民詩集」（大東出版社）の後記には、歌から詩に転じたきっかけが、太子のうただったと書いています。

しな照る 片岡山に 飯に飢て寝臥せる
その旅人あはれ 親なしに 汝れ
成りけめや さすたけの主君はや無き
飯に飢て 寝臥せる その旅人あはれ
（片岡山に飢えて横たわる旅人の可哀想なことよ。親もなく生まれたのか？ 主人様はいないのか？ 飢えて横たわる旅人の可哀想なことよ）

これは「日本書記」所載の太子歌片岡山。大和国葛城の片岡山で、飢えた

人が道に臥しているのに遭遇した太子は、飲み物や食べ物を与え、自分の衣服を脱いでその人にかけてあげました。その時に詠んだ歌。

太子は塚を築いて死者を手厚く葬り、亡くなった人は徳の高い聖に違いがない、と語りました。使いの者が調べにくと墓に死体はなくて、墓の上には太子の衣がたんで置いてあり、再び太子はその衣を身につけたそうです。旅人は達磨大師の化身であったともいわれ、人々は「聖は聖を知る」とうわさし、太子をますます尊敬したと伝えられています。

「万葉集」にも旅人を悼んだ太子の歌（竹原の井の歌）が収められています。家にあれば 妹が手まかむ 草枕旅に臥せる この旅人あはれ

（家にいたら妻の手を枕にしているだろうに、草を枕に亡くなった旅人の不憫なことよ。）

真民さんは、前述の著書で、「（詩への転向は）いかるがの太子のうたが、わたしの目をひらき、心の扉をあけさせてくれたからであつた。：私と仏教とのつながり、私と詩とのつながりが、この非人乞食に寄せられた歌だったことに思うにつれ、わたくしはつねにここに帰り、ここに自分の詩の一切があるのだと言いきかせ、停滞をすれば、またここにさかのぼってゆくのである。」

仏教を広め、慈悲深い人物として知られる聖徳太子。行き倒れた人を悲しむ太子のうたが、仏教精神を底流に持つ真民詩の源流で、真民さんは、太子のお言葉をつつしみ唱えたり、心に念ずる言葉を聞いてもらおうと太子像の前に立ったりしたと詩に詠んでいます。

太子は道後（伊予の湯）に来浴した時、温泉の靈験に感じ入って格調高い漢文を残しました。

「意識」天の日月が平等に光を恵み、神の井（温泉）も平等に恩恵を与える。この自然の摂理と同じように、私心なく政治を行えば、これこそ理想の国、天寿国の姿ではないか。人々は温泉に入浴して難病を治している。それは天寿国の霊泉花池に沐浴して、弱き者が仏に化すると同じではないか。

飛鳥乃湯泉誕生に伴い、太子の精神を自らの詩の抛り処にしていた真民さんの心のうちに思いを馳せたのでした。

沓

急に法隆寺への旅を思い立たせたのは
特別御開帳の秘宝
聖徳太子像の前に

一対一で立ち
願文を聞いてもらいためであつた
初日であつたが

数えるほどの人しかなく
静かにお会ひできたことが
何よりもありがたかつた
座し給うおん前の沓が
わたしに声をかけてくれた
沓はガラスケースの中にもあり
二寸四分とか一寸七分とか
書いてあるのが
なつかしくてならなかつた



経営理念

最大の会社より最良の会社
人さまに喜んで頂く仕事と自分づくりをする

[パチンコ店経営]

株式会社 宣翔物産

〒812-0857 福岡市博多区西月隈3-6-17 Tel 092-475-1151

[関連グループ会社]

株式会社 クリオ

ホテルクリオコート博多
〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街5-3 Tel 092-472-1111



『木は氣なり』

百年の木には百年の氣が宿り

千年の木には千年の氣が宿る

鳩寿四 真民詩

南木曾木材産業株式会社

〒399-5302 長野県木曾郡南木曾町吾妻1187 代表取締役 柴原 薫

TEL 0264-57-4000 FAX 0264-57-2006 <http://www.nagiso.co.jp> メール kao@nagiso.co.jp

砥部の地で、医療、看護、介護の三位一体を実現する砥部病院



介護付有料老人ホーム To-be

78居室/20㎡~24㎡(1F&2F)



住宅型有料老人ホーム
モンレーヴ砥部

18居室/2LDK 40㎡~90㎡(3F)

伊予郡砥部町麻生51-1(砥部病院横) TEL.089-969-0085 砥部病院ケアサービス株式会社

サンマーク出版 坂村真民の本

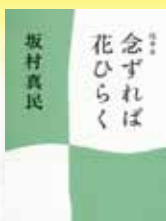
詩墨集
筆の詩墨の花



●定価=本体 3500円+税

坂村真民記念館
所蔵の作品を満載!

随筆集
念ずれば花ひらく



●定価=本体 1800円+税

初めての
随筆集を復刻!



10万部突破の
超ロングセラー!

詩集
念ずれば花ひらく



詩集●定価=本体各1000円+税

サンマーク出版

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-16-11
TEL 03 (5272) 3166 FAX 03 (5272) 3167
<http://www.sunmark.co.jp>

詩集二度とない人生だから



医療法人 徳真会グループ



医療法人
徳真会グループ

「医療は人なり」の診療理念のもと

患者さま第一主義の歯科医療グループです。

国内にデンタルクリニック31ヶ所、メディカルクリニック1ヶ所を展開し、年間90万人の治療に携わっております。

徳真会 検索
www.tokushinkai.or.jp



新潟 Niigata	
松村歯科 新潟診療所	☎025-201-1885
松村歯科 新津診療所 *	☎0250-24-6688
おぎかわ歯科	☎0250-23-4880
まつむらデンタルクリニック 水原診療所	☎0250-62-2151
まつむらデンタルクリニック 津川診療所	☎0254-92-0150
松村歯科 関川診療所 *	☎0254-64-1201
しらとり歯科	☎0256-72-1771
松村歯科 長岡診療所	☎0258-28-4108
まつむら第二歯科	☎0258-31-7202
まつむら歯科 柏崎診療所	☎0257-20-0310
まつむら歯科 高田診療所	☎025-521-6780
松村歯科 上越診療所	☎025-522-6001

宮城 Miyagi	
名取デンタルクリニック	☎022-381-0921
青葉デンタルクリニック	☎022-348-2125
青葉第二歯科	☎022-348-1085
青葉西デンタルクリニック *	☎022-302-7087
利府デンタルクリニック	☎022-766-4130
いずみデンタルクリニック	☎022-253-1588
石巻デンタルクリニック	☎0225-25-5088
あすと長町デンタルクリニック *	☎022-399-6688

大阪 Osaka	
みのおデンタルクリニック	☎072-749-2080
江坂第二歯科	☎06-6310-7660

福岡 Fukuoka	
はかた中央歯科 *	☎092-892-5134

東京 Tokyo	
USTINY DENTAL INSTITUTE *	☎03-6431-8633
松村歯科 駒込診療所	☎03-3949-8818
まつむら歯科 立川診療所	☎042-538-1088
わかば台デンタルクリニック *	☎042-350-5671
練馬高野台デンタルオフィス 練馬訪問歯科センター *	☎03-5923-1167
徳真会クオーツタワー 総合案内	☎03-6362-6688
・クオーツホワイトデンタルクリニック 3F (オーラルケア・エステ、ホワイトニング)	☎03-6362-6683
・青山クオーツデンタルクリニック 4F・5F	☎03-6362-6688
・クオーツデンタルクリニック 7F	☎03-6362-6688
・クオーツメディカルクリニック 8F (内科、皮膚科、頭痛外来)	☎03-6362-6680

* 歯科訪問診療 * 保育施設併設

坂村真民記念館友の会 会員募集中

坂村真民記念館友の会は、会員の皆様と記念館との交流を図り、記念館を共に支え、育てていくことを目的とした会です。入会された方には会報と、真民グッズなどの記念品を贈呈します。

パスポート会員 年会費2000円	特典 会員証で入館無料1人 ほか
一般会員 年会費5000円	特典 会員証で入館無料1人 ほか
特別会員 年会費10,000円	特典 会員証で入館無料2人 ほか
法人会員 年会費10,000円	特典 会員証で入館無料2人、観覧券10枚贈呈 ほか

詳しくはホームページをご覧ください 坂村真民記念館 友の会 検索

〈編集後記〉 今年も12月になりました。愛媛国体と障がい者スポーツ大会の特別バージョン展示は、皆さんの評判も良く、新たな来館者の開拓に貢献してくれたと思います。また今年には思いがけなく、私の本が出版されることになり、皆さんの温かい励ましをいただき、致知出版社のご支援もあり、多くの方に買っていただきました。まだの方は是非とも、購入していただければ幸いです。(西)

タンポポだより vol.23 冬号

平成29年12月1日発行 表紙写真：西澤孝一
発行元／坂村真民記念館友の会事務局
〒791-2132 伊予郡砥部町大南705 坂村真民記念館内
TEL089-969-3643 FAX089-969-3644

〔坂村真民記念館〕

開館時間／9～17時(入館は16時30分まで)
休館日／月曜(月曜が祝日の場合は翌日)、12月29日～1月1日
入館料／65歳以上300円、一般400円、高校生・大学生300円、小・中学生200円 ※15人以上の団体は割引あり